

和泉雅人教授 退任記念論文集

目次

I 和泉雅人教授 略歴・主要著作目録

- 1 呪い、罵り、誹謗について—文化史的な視点から ラルフ・シュネル
20 メディア実験としてのミューズの呼びかけ
—クルト・シュヴィッタースのメルツ詩1
『アンナ・ブルーメに寄せて』について ヨーゼフ・フルンケース
39 国家定立における構成的要素としての破壊
—ハインリヒ・フォン・クライストとルソーの『社会契約論』
橋宏亮
- 57 実存主義から隠れた自己批判へ—アルフレート・アンダーシュの
伝記、言説、美学について マルクス・ヨッホ
- 84 詩か真実か—ハインリヒ・フォン・クライスト『ロカルノの女乞食』に
おける共感覚的秩序の混乱 森本康裕
- 99 異界への憧れ—ノイマイヤーとアンデルセンと人魚姫—
清水ベーテ 恵
- 114 世紀末的表象としてのエルザ—リヒャルト・ヴァーグナー
『ローエングリン』についての考察— 會田素子
- 129 ヨーゼフ・ロートにおける放浪と祖国
—移民と多民族主義についての考察— 野端聰美
- 139 そこには音楽がある—フランツ・カ夫カ『ある戦いの記録』について
寺田雄介
- 152 『ウェリギリウスの死』における「純粹なコトバ」について
—ヘルマン・ブロッホの「コトバ」の形而上学— 桑原聰
- 167 亡靈としての写真—W.G.ゼーバルト『移民』をめぐって 川島建太郎
- 181 ゲーテとベンヤミンの翻訳論と「世界文学」の理念
—1970年代日本における受容をめぐって 余川麻里生
- 194 個別と遍在のはざまで
想起のプロジェクト「躓きの石」をめぐる批判的考察 安川晴基
- 214 [エッセイ] ゲーテの『ファウスト第一部』の「夜」の場面の冒頭で
ファウストの語る Juristerei をいかに解釈すべきか 岩崎英二郎